

令和5年度事業報告書

1. 事業の概要

当財団では、公益法人制度の改革に伴い、平成25年7月1日に移行登記を完了して、一般財団法人川合京都仏教美術財団として新たな第一歩を踏み出しました。新しい財団においてもこれまでの24年間の財団法人川合芳次郎記念京都仏教美術保存財団の実績を継承して、京都府内の貴重な文化財の保存修理に対する助成金の交付と、財団が所有する歴史遺産の良好な保存管理、調査、公開などの事業を進めるとともに、京都府内の文化財保護事業に一定の役割を果たしているところです。

令和5年度も当財団の持つ社会的責務を果たすために、これまで一步一步進めて来た事業を継続しさらに充実させるべく尽力して参りました。文化財の保存修理への助成金の交付は、当財団発足以来の助成件数が219件を数え、助成総額も7,200万円を上回りました。小さな財団のささやかな誇りです。一方で、木津川市加茂町の旧燈明寺の維持管理は、年数を経るに従って難しくなってきました。江戸時代初期創建の庫裏は老朽化が著しく、当年度は東側にある玄関の屋根瓦の葺き替え工事を京都府と木津川市から補助を頂いて実施しました。毎年のように続けなければならない修理工事は、ゴールが見えないだけに大きな悩みでもあります。将来について根本的に考える時期に来ているようです。

2. 会議の開催

(1) 令和5年度第1回理事会の開催

- 日 時 令和5年5月29日(月) 午後3時から
場 所 法輪院会議室
出 欠 理事総数7名中7名出席、監事1名中1名欠席
議 題 ①決議事項 (1)令和4年度に係る事業報告及び計算書類の承認について
(2)令和4年度に係る公益目的支出計画実施報告書の承認について
(3)令和5年度第1回評議員会の招集の決定について
②報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
③承認事項 監事選任候補者の推薦について

(2) 令和5年度第1回評議員会の開催

- 日 時 令和5年6月20日(火) 午後3時から
場 所 法輪院会議室
出 欠 評議員6名中6名出席、監事1名中1名欠席、
理事(代表理事・業務執行理事)3名出席
議 題 議事録署名人の選任について
①決議事項 (1)令和4年度に係る計算書類の承認について
(2)役員を選任について
②報告事項 (1)令和4年度に係る事業報告について
(2)令和4年度に係る公益目的支出計画実施報告書について

(3) 令和5年度第2回理事会の開催

- 日 時 令和6年3月25日(月) 午後3時から
 場 所 法輪院会議室
 出 欠 理事総数7名中7名出席、監事1名中1名出席
 議 題 ①決議事項 (1)令和6年度に係る事業計画及び予算の承認について
 (2)令和5年度の修理助成金交付について
 ②報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

3. 事業関係

(1) 公益目的支出計画実施報告書

「令和4年度に係る公益目的支出計画実施報告書」の提出(令和5年6月28日付/電子申請)

(2) 文化財修理助成事業

1) 令和5年度文化財修理助成金の予算

目安として、9件、2,700,000円を計上しました。

2) 助成金申請者募集の活動について

当財団のホームページに「令和5年度の文化財修理助成金の申請を受け付けています」という記事を掲載して応募を呼びかけました(令和5年11月19日掲載)。

3) 助成金事業修理状況調査会

令和5年度は7件の申請に留まりました。令和6年3月21日に理事3名、監事1名が参加して修理状況の調査を実施しました。7件のうち2件についてはすでに修理が完了して所有者や寄託先に戻されていたこと、また1件は昨年と同じ文化財だったことから視察を見送ることとしました。残りのうち1件は現場での修理であったため直接寺院を訪ね、他の3件については2つの業者の作業場で担当者から説明を受け、いずれも修理が順調に進められていることを確認しました。

4) 令和5年度文化財修理助成金交付内容の確定

事務局による交付申請書の精査と理事らによる修理状況の調査に基づき、理事会の議決を経て、申請のあった7件のいずれも「助成相当」と判断し、令和5年度の助成を、以下の7件、2,010,000円と確定しました。

1. 宮津市指定文化財	仏涅槃図	1幅	300,000円
2. 重要文化財	紙本墨画 山水図	4面	210,000円
3. 重要文化財	妙顕寺文書 古文書(掛軸装)	6幅	300,000円
4. 国宝	持国天像・増長天像	各1軀	300,000円
重要文化財	木造地藏菩薩立像	1軀	
5. 京都府暫定登録文化財	絹本著色 仏涅槃図	1幅	300,000円
6. 京都府指定文化財	紙本著色 草花図	20面	300,000円
7. 京都府指定文化財	善峯寺参詣曼荼羅	1幅	300,000円
	三鈷寺参詣曼荼羅	1幅	

5) 令和5年度文化財修理助成金の支払い

各申請者に対する支払い(7件、2,010,000円)は、令和6年4月17日に完了しました。

(3) 情報公開について

◇ホームページ関連—公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)に依頼

(1)令和5年4月21日

- ①「情報の公開－開示」の更新(「事業計画書(令和4年度)」及び「収支予算書(令和4年度)」を削除し、「事業計画書(令和5年度)」及び「収支予算書(令和5年度)」に更新)
- ②「助成の実績」の更新(「これまでの助成実績」に令和4年度分を入れて更新)
- ③「助成の実績」の更新(「過去5年間の実績」の平成29年度分を削除し、令和4年度分を追加)
- ④「川合京都仏教美術財団役員名簿」を更新

(2)令和5年8月22日

- ①「情報の公開－公告」の更新(「貸借対照表(平成29年度)」を削除し、「貸借対照表(令和4年度)」を追加)
- ②「情報の公開－開示」の更新(「事業報告書(平成29年度)」を削除し、「事業報告書(令和4年度)」を追加)
- ③「川合京都仏教美術財団役員名簿」を更新

(3)令和5年10月18日

- ①「お知らせ」令和5年度の旧燈明寺収蔵庫の公開について

(4)令和5年11月17日

- ①「お知らせ」更新(「令和5年度の旧燈明寺収蔵庫の公開について」を削除)
- ②「お知らせ」更新(「令和5年度の旧燈明寺収蔵庫の公開が終了しました」を掲載)
- ③「お知らせ」更新(「令和5年度の文化財修理助成金の申請を受け付けています」を掲載)

(4) 文化遺産の保存活用等

◇木津川市加茂町所在の遺跡地関連

1)維持管理

(1)維持管理業務の委託

旧燈明寺境内地全域の状況と建物の内外の状況の確認及び境内地の草刈りや庭木の剪定作業への立会い等の維持管理の業務について、NPO法人「ふるさと案内・かも」と「管理委託契約」を締結し、毎月1回の維持管理作業をお願いしております。今年度も維持管理業務は毎回ほぼ3名の同法人会員によって誠実かつ的確に遂行されており、その内容等については、毎作業終了後に「日報」の提出をもって報告されています。

(2)草刈り・剪定等

- ①旧燈明寺境内地の草刈り(年3回実施/令和5年5月14日・7月15日・10月15日)
- ②旧燈明寺境内の危険木の伐採と枝払い(令和6年3月11日～13日)
- ③旧燈明寺境内地の庭木の剪定及び周辺の市道の樹木の枝払いの実施(令和5年9月15日)

(3)旧燈明寺庫裏の修理工事

- ①庫裏東側玄関の庇屋根瓦葺替え工事(令和5年10月26日・27日)

庫裏東側にある玄関では、垂木など木部の老朽化や瓦の傷みがかねてより指摘されてきました。庫裏への出入り口という性格上、人の出入りも多く、現状のままこれ以上放置するのは危険と判断して修理を実施しました。

- ②修理工事の完了検査(令和5年12月13日)

修理工事の終了を受けて、京都府文化政策室、京都府山城広域振興局及び木津川市

文化財保護課による工事完了検査が実施されました。特段の指摘はありませんでした。

③当該工事への補助金の申請

今回の庫裏玄関の工事について「令和5年度京都府社寺等文化資料保全事業」に補助金の交付を申請したところ、京都府並びに木津川市の補助金の交付が決まり交付されました。詳細は下記のとおりです。

総工事費 198,000円、

京都府補助金 80,000円、木津川市補助金 49,000円、財団負担分 69,000円

2)文化財の活用

①収蔵庫の公開等

木津川市観光協会主催の「木津川市 2023 秋の特別公開－文化財の宝庫 木津川市」に協賛して、旧燈明寺の収蔵庫の公開を3日間実施しました。

◇公開期間 令和5年11月3日(金・祝)、11月4日(土)、11月5日(日)

午前10時から午後4時まで

◇公開内容

- ・木造千手観音立像／木造十一面観音立像／木造不空羼索観音立像／木造聖観音立像／木造馬頭観音立像(鎌倉時代、京都府指定文化財)
- ・不空羼索観音像像内納入品(木造合体天部形立像 2点／観音像造立奉加結縁交名)(鎌倉時代、京都府指定文化財)
- ・「東明寺」銘軒丸瓦(室町時代)
- ・『燈明寺縁起』(元禄9年・1696)
- ・『拾遺都名所図会』卷之四(天明7年・1787)
- ・南山城三十三所観音霊場額(天保7年・1836)

◇来場者数 11月3日－69名、4日－26名、5日－28名

合計 123名

◇監視・案内業務の委託 公開期間中の監視及び案内等の業務を地元のNPO法人「ふるさと案内・かも」に委託しました。

◇周知について

- (1)木津川市観光協会ホームページへの掲載、パンフレットの発行
- (2)当財団ホームページへの掲載

②旧燈明寺観音像の出品

奈良国立博物館から令和5年開催の特別展「聖地 南山城－奈良と京都を結ぶ祈りの至宝－」に「木造千手観音立像」を初めとする観音像5軀の出品の依頼があり、令和5年7月8日から9月3日までの全期間出陳しました。これに付随する作業等は以下の通りです。

- ・令和5年2月14日－奈良国立博物館による5軀の観音像の下調べ(旧燈明寺収蔵庫)
- ・令和5年6月5日・6日－観音像5軀の搬出作業(旧燈明寺収蔵庫)

木造千手観音立像の持物の一部についての応急修理

(旧燈明寺収蔵庫内／公益財団法人 美術院)

- ・令和5年7月7日－奈良国立博物館において同展の開会式・内覧会
- ・令和5年7月 日－聖観音立像・馬頭観音立像のX線CTスキャン調査

(奈良国立博物館内)

- ・令和5年9月26日・27日－観音像5軀の返却作業(旧燈明寺収蔵庫)

4. 資金運用

◇当年度も資金運用に幾つかの動きがありました。

- ①「J Pモルガン・チェース銀行債」770,000ドルが令和5年5月8日に満期となりましたので、その代替として6月20日に新たに「J Pモルガン・チェース銀行債」を購入しました。
- ②「バンクオブアメリカ債」460,000ドルが令和6年1月22日に満期となりましたので、その代替として3月7日に「みずほフィナンシャルグループ債」を購入しました。
- ③三菱UFJ銀行赤坂見附支店の定期預金(60,000,000円／5年)を解約して、新たに同支店の定期預金(60,019,051円／10年)を令和6年3月5日に契約しました。

5. 訃報

- ◆令和5年6月2日 当財団監事の山本宣雄氏が逝去されました。享年73歳
- ・大阪府立大学経済学部卒業／監査法人中央会計事務所入所
 - ・平成10年3月30日に当財団の前身の財団法人川合芳次郎記念京都仏教美術保存財団の監事に就任。以来25年にわたって指導・助言を賜り、運営にご尽力頂きました。感謝に堪えません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

以上